

教皇フランシスコ紋章の盾

モットー：“Miserando atque eligendo”（憐れみ、そして選ばれた）

広島市長 松井一實 殿

長崎市長 田上富久 殿

ヴァチカン、2018年5月11日

拝啓

原爆被爆者の方々の思いのこもるお二人からのお手紙、そして命、対話、出あいと平和を促すための積極的なお働きとご尽力に感謝いたします。

広島と長崎は、暴力と戦争が引き起す極度の苦しみと死を思い出させるかたわら、立ち上がり命を守り、平和を蒔き、兄弟愛の絆を築く力が備わっていることを示し、私たちの世界に希望の光ももたらします。原爆の惨事を生き抜いた被爆者のみなさんは、その生きた証しであり、その経験は同じような惨事を許さないために取組を続けるよう、私たちを勇気付けるものです。

個人としてみなさま方のおひとりおひとり、そのご家族、そしてお二人が代表なさる両市の市民の方々のために、私の祈りを捧げることが約束します。最後に、私のためには是非お祈りくださることを忘れないでください。主がみなさま方を祝福し、聖母マリアがお守りくださいますように。

愛を込めて、

敬具

フランシスコ

（教皇フランシスコ署名）